

# 向こう 1 か月の天候の見通し

## 近畿地方（9 月 2 日～10 月 1 日）

大阪管区気象台

### 予報のポイント

- 暖かい空気に覆われやすく、向こう 1 か月の気温は高くなりますが、1 週目は寒気の影響で低くなるでしょう。このため、期間の前半は、気温の変動が大きい見込みです。
- 日本海側では、高気圧に覆われやすく、向こう 1 か月の日照時間は平年並か多い見込みです。

### 1 か月の平均気温・降水量・日照時間

		平均気温（1 か月）	降水量（1 か月）	日照時間（1 か月）
近畿	日本海側	低 20 並 30 高 50% 高い見込み	少 30 並 40 多 30% ほぼ平年並の見込み	少 20 並 40 多 40% 平年並か多い見込み
	太平洋側		少 30 並 40 多 30% ほぼ平年並の見込み	少 30 並 40 多 30% ほぼ平年並の見込み


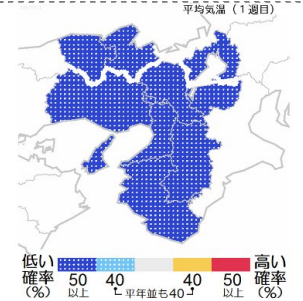
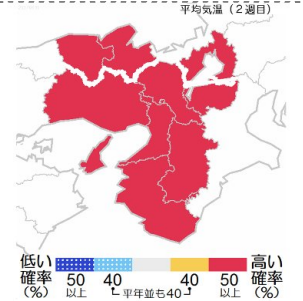
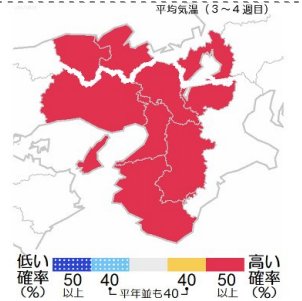
### 週別の天候

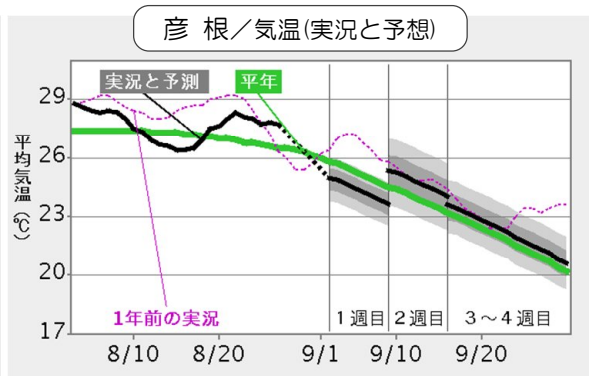
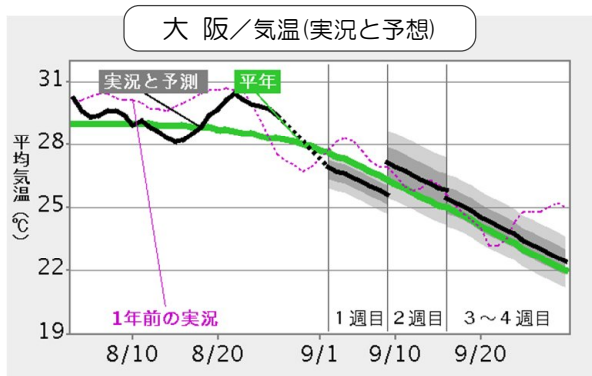
(1 週目) 9/2~8	(2 週目) 9/9~15	(3~4 週目) 9/16~29
高気圧に覆われて晴れる日もありますが、前線や湿った空気の影響で雲が広がりやすい見込みです。	日本海側では、天気は数日の周期で変わるでしょう。 太平洋側では、天気は数日の周期で変わりますが、前線や湿った空気の影響を受けやすく、平年に比べ晴れの日が少ない見込みです。	日本海側では、天気は数日の周期で変わりますが、高気圧に覆われやすく、平年に比べ晴れの日が多いでしょう。 太平洋側では、高気圧に覆われやすく、平年に比べ晴れの日が多い見込みです。

明日から 1 週間の、日別の天気や気温などは、週間天気予報 (<http://www.jma.go.jp/jp/week/>) を参照してください。


季節予報は、予測の確からしさに応じて、気温や降水量などを「低い（少ない）、平年並、高い（多い）」となる確率で表しています。「平年並」がどの程度の値になるのかについては、末尾の「参考データ（平年並の範囲）」をご覧ください。  
確率をその大きさに応じ言葉で解説しています。詳しくは末尾の「参考データ（確率予報の解説）」をご覧ください。

## 週別の平均気温

	平均気温（1週目） 9/2~8	平均気温（2週目） 9/9~15	平均気温（3~4週目） 9/16~29
近畿地方	低 60 並 30 高 10% <b>低い</b> 見込み	低 20 並 30 高 50% <b>高い</b> 見込み	低 20 並 30 高 50% <b>高い</b> 見込み
 数値は予想される 出現確率です			



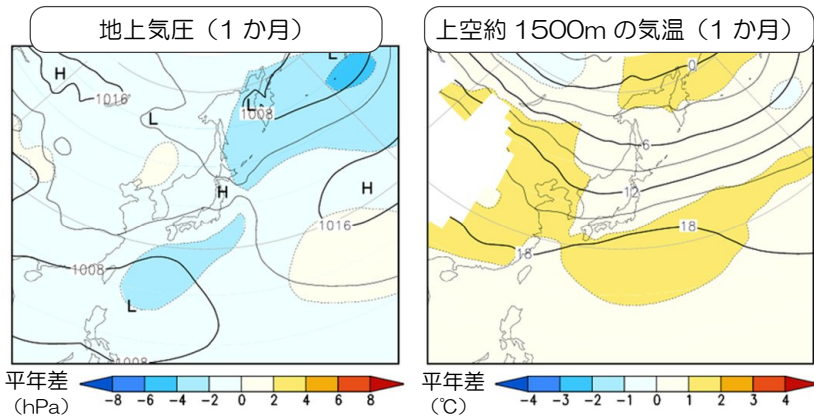
ほかの地点の気温（実況と予想）グラフは、  
 気象庁ホームページ  
<http://www.data.jma.go.jp/gmd/cpd/longfcst/tjikeiretu/index.php>  
 で公開しています。

 予想の気温は、週別の平均的な気温の見込みを黒い太線で表しています。信頼の程度が40%の幅を濃い網掛けで、70%の幅を薄い網掛けで示しています。今年、昨年の実況は7日平均気温です。

## 数値予報モデルによる予測結果

1か月平均の地上気圧（左図）は、日本の南海上と北・東日本の東海上を中心に低い予測となっています。

上空約1500mの気温（右図）は、日本付近は全体的に高い予測ですが、北・東日本では平年との隔たりが小さくなっています。

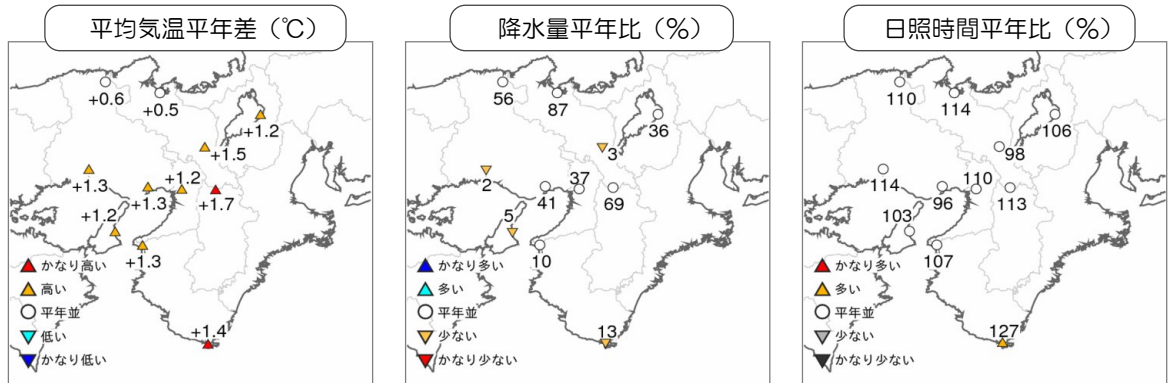


季節予報では、よく似た初期値から出発した多数の数値予報結果を利用します（アンサンブル予報）。多数の結果の平均（上図など）から大気の状態を判断し、また結果のパラツキ具合から予報の信頼度や確率を計算します。

最近 1 週間の天候経過（実況）

8/24~30

天気は数日の周期で変わりましたが、日本海にある停滞前線が近畿地方を南下した影響で、大雨となったところがありました。



(実況) 8/24~30		平均気温平年差	降水量平年比	日照時間平年比
近畿	日本海側	+1.2℃ (高い)	60% (平年並)	110% (平年並)
	太平洋側		23% (少ない)	109% (平年並)

参考データ

●平年並の範囲

	平均気温 (1 か月)	平均気温 (1 週目)	平均気温 (2 週目)	平均気温 (3-4 週目)
近畿地方	平年差: -0.3~+0.5℃	平年差: -0.4~+0.7℃	平年差: -0.4~+0.7℃	平年差: -0.6~+0.4℃
彦根	23.1~23.8℃	24.8~26.0℃	23.6~24.8℃	21.4~22.2℃
大阪	24.6~25.5℃	26.5~27.8℃	25.2~26.5℃	23.0~24.0℃

	降水量 (1 か月)	日照時間 (1 か月)
近畿日本海側	平年比: 74~119%	平年比: 93~106%
近畿太平洋側	平年比: 73~108%	平年比: 93~105%
彦根	114.4~178.4mm	133.5~155.4 時間
大阪	98.6~156.3mm	136.3~157.5 時間

「平年並」の範囲は、同時期の過去 30 年間（1981-2010 年）の値から統計的に求めています。30 年間のデータの中で「高い（多い）」「平年並」「低い（少ない）」となるデータの数が等分になるように「平年並」の範囲を決めています。すなわち、30 年間の 30 個のデータのうち、値が高い（多い）方から 11~20 番目となる 10 個のデータの値の範囲を、おおよそ「平年並」の範囲としています。また、実況の分布図にある「かなり高い（多い）」などは、高い（多い）方から 3 番目までの値に相当します。

●晴れ日数と降水日数の平年値

	1 か月		1 週目		2 週目		3~4 週目	
	晴れ日数	降水日数	晴れ日数	降水日数	晴れ日数	降水日数	晴れ日数	降水日数
彦根	14.9 日	9.6 日	4.2 日	2.0 日	3.7 日	2.5 日	6.9 日	5.1 日
大阪	15.3 日	8.8 日	4.3 日	2.0 日	3.9 日	2.2 日	7.1 日	4.6 日

「晴れ日数」は「日照時間が可照時間の 4.0% 以上」の日数であり、「降水日数」は「日降水量 1mm 以上」の日数です。この 2 つは同じ日に起こることがあるため、「晴れ日数」と「降水日数」の両方に数えられる日もあります。

●確率予報の解説（ここでは確率予報を次のような言葉で解説しています）

出現確率 (低い (少ない) : 平年並 : 高い (多い))	解 説
高い (多い) 確率が 50% 以上	高い (多い) 見込み
(20 : 40 : 40)	平年並が高い (多い) 見込み
平年並の確率が 50% 以上	平年並の見込み
(40 : 30 : 30) (30 : 40 : 30) (30 : 30 : 40)	ほぼ平年並の見込み
(40 : 40 : 20)	平年並が低い (少ない) 見込み
低い (少ない) 確率が 50% 以上	低い (少ない) 見込み